

# 平成19年度(第45回) 越馬徳治科学賞 受賞者・受賞校の業績 及び 助成校・助成機関の紹介

## 1 個人表彰

金沢市立長田町小学校 教諭 宮松 まり子

金沢市立森山町小学校を初任に、同大浦小学校、同医王山小学校、同戸板小学校、津幡町立英田小学校を経て現在に至る。金沢女性理科研究会に所属し「子どもが創る理科・生活科」をテーマとする研究を積み重ね、ソニー科学教育研究会中日本特別研修会や金沢市教育委員会教科等研究において成果を発表するとともに、石川県教育委員会小学校理科実技研修の講師を務めるなどした。また、学校の研究主任や金沢市小学校教育研究会理科部会の運営委員を務める一方、金沢子ども科学財団児童科学教室の指導員等も務めるなど、理科教育に貢献している。

七尾市立德田小学校 教諭 横町 昌宏

加賀市立作見小学校を初任に、田鶴浜町立田鶴浜中学校、七尾市立高階小学校、同天神山小学校、同御祓中学校を経て現在に至る。「力学の教材開発と指導のアイデア」の共同執筆や、学習と日常生活とのつながりについて県理科教育研究大会で発表するなどの研究実績がある。また、長年、七尾市少年科学館専門員を務め、ホームページの開設に携わるとともに、七尾市学校教育研究会理科教育研究会の事務局書記・会計として、科学作品展、おもしろ科学展、科学研究発表会等の企画・運営の中心となっている。

金沢市立森本中学校 教諭 井上 一 浩

珠洲郡松波町立松波中学校を初任に、金沢市立紫錦台中学校、同大徳中学校を経て現在に至る。授業研究に努め、珠洲郡・金沢市で公開授業をするなどの実績があるほか、県理科教育研究大会における提案者、金沢市教育課程編集委員なども務め、理科教育の面で多くの活動実績を持つ。指導面では高峰賞学校賞、第40回越馬徳治科学賞学校賞、金沢商工会議所会頭賞を受賞するとともに、多くの生徒を高峰賞個人賞、石川県科学作品コンクール、岡文化賞理科部門などの受賞へと導く指導を行っている。

石川県立金沢西高等学校 教諭 江頭 和子

石川県立富来高等学校を初任に、同津幡高等学校を経て現在に至る。北信越理化教育研究大会研究協議での発表や、高大連携による数理教育研究会・数理教材化学部門での研究など、積極的に研究活動を行ってきた。また、「青少年のための科学の祭典」(全国大会)の講師を多年にわたり務め、県内の大会でも講師や事務局を務め、子ども達の科学への興味喚起に貢献してきた。石川県高等学校教育研究会理化部会では事務局や理事を務め、また理化部会の北信越や全国の理事も務めるなど理科教育にも貢献している。

## 石川県立金沢泉丘高等学校 教諭 吉村久貴

石川県立野々市明倫高等学校を初任に、同金沢二水高等学校を経て現在に至る。石川県内における蝶類の分布調査や、DNAに関する専門性の高い研究など、研究調査活動にも意欲的に取り組んできた。10年以上にわたり、環境省自然保護局の自然環境保全基礎調査に協力し、昆虫（チョウ）類の分布調査を行った。「いしかわ高校生物のつどい」や石川県立自然史資料館の講座で講師を務めるなど、児童・生徒への科学への興味を喚起する教育活動にも取り組んでいる。県理科教育研究大会では2度の公開授業を行うとともに、石川県高等学校教育研究会生物部会の事務局などを務めている。

## 2 功労者表彰

### 金沢市立野町小学校 校長 山下良夫

金沢市立三谷小学校を初任に、同森山町小学校、同戸板小学校を経て、石川県教育センター研修指導主事、石川県教育委員会事務局教職員課管理主事、金沢市立栗崎小学校教頭、石川県教育委員会金沢教育事務所指導課長、石川県教育委員会事務局教職員課課長補佐を歴任し、現在に至る。初任から16年間研究指定校に在籍し、内12年間は研究主任として公開研究会をリードした。2つの理科サークルに所属し、毎年、県の奨励研究に応募・発表した。また、「おもしろ科学クラブ」を立ち上げ、所属校の児童に科学の楽しさ・不思議さを学ばせるとともに、金沢市児童科学教室の職員、発明クラブの職員として金沢市内の児童の指導にもあたった。

### 石川県立金沢二水高等学校 教頭 木村 明

千葉県柏市立光ヶ丘中学校を初任に、同松戸市立小金中学校、同我孫子市立我孫子中学校、石川県鶴来町立北辰中学校、小松市立女子高等学校、石川県立工業高等学校定時制、同小松明峰高等学校、同校教頭を経て現在に至る。物理を専門とするが、金沢大学科学教育研究において加賀地区の淡水魚の分布、環境等の調査研究を行い、また、石川県自然解説研究会会員として白山山系の自然環境に対する啓蒙活動にも従事してきた。県理科教育研究大会で2度研究授業を行い、理科教諭の指導力向上にも貢献してきた。石川県高等学校教育研究会理化部会事務局、理事、副会長等を多年にわたり務め、理科教育の推進に貢献している。

## 3 学校表彰

### 金沢市立明成小学校 (校長 金丸 洋子)

当該校は、平成7年の開校以来、金沢市児童科学教室や日本宇宙少年団金沢支部中央分団の会場校として、児童の科学する心を育む拠点となってきた。また、学校独自の取り組みとして、夏季休業中に科学研究や発明工夫作品に関する相談日を設け、指導している。その成果として、石川県児童・生徒科学作品コンクールや発明工夫展において数多くの受賞者を輩出している。また、学校研究と併せて、これまでに省エネルギー教育推進モデル校、エネルギー教育実践校、JST理数大好きモデル地域事業実践モデル校等の指定を受け、科学研究活動を実施し、継続して公開研究発表会を行い、教員の資質向上を図るとともに理科授業の充実を図ってきた。

## 金沢市立高尾台中学校 (校長 玉木 勝)

当該校は平成15, 16年度に金沢市21世紀学校づくり「学力向上モデル校」として研究を進めてきた。平成17年度からは理科の研究テーマとして「班活動を通して、お互いに協力し合う生徒の育成」をかかげ指導法の工夫を実践している。基礎基本の定着に主眼をおき、観察・実験を重視すると同時に、考えながら実験を進めることができるような理科室の整備も行っている。夏季休業中は自由研究のために理科室を開放し、理科教諭による相談受付を行ったり、実験器具などの貸し出しを行って理科研究を奨励している。また、理科学習に意欲的な生徒を対象に学習教室を開き、発展的な学習にも積極的に取り組むなど、理科教育に意欲的に取り組んでいる。

## 石川県立小松高等学校 (校長 栖川 成人)

当該校は、理化部を中心に、多年にわたり研究活動を行ってきた。平成15年に石川県のスーパーハイスクールに指定され、平成18年からは文部科学省のSSHにも指定され、国際的に活躍する理系の人材の育成を目指している。その活動の柱のひとつとして理系の部活動の活性化をあげ、積極的に研究し発表することで科学に対する興味関心の増大と表現力の伸張を図ることに務めている。理化部は、平成3年よりほぼ毎年、石川地区中学高校生徒化学研究発表会で成果の発表を行っているが、特に平成16年以降は毎年複数の発表を行っている。本年度も「金属葉を作る」、「過冷却に生きる」、「カタラーゼのはたらきを調べる」の3件の発表を行った。

## 4 学校助成

野々市町立御園小学校 (校長 廣瀬 修)

野々市町立布水中学校 (校長 北村 正樹)

石川県立野々市明倫高等学校 (校長 小池田 修)

野々市町で開催する第45回石川県理科教育研究大会の公開授業担当校として、小・中・高等学校をつなぐ理科教育を積極的に推進している。

## 5 研究所助成

石川県教育センター (所長 加茂 達子)

都道府県指定都市教育センター所長協議会地学部会(第45回)研究協議会及び研究発表会の開催機関として、科学教育に関する研究を積極的に推進している。